

2025～26年度 RI第2650地区

創立 昭和36年6月28日

承認 昭和36年8月 3日

勝山ロータリークラブ週報

例会日 毎週火曜日 12:30～13:30

例会場 勝山市市民交流センター

〒911-0811 福井県勝山市片瀬町1丁目402番地

TEL 0779-87-7761 FAX 0779-87-7760

URL: <https://rid2650.gr.jp/club-katsuyama>

Email: katsuyamarc@gmail.com

■会長 滝川 博則 ■幹事 辻 利津子

編集発行・文責 公共イメージ委員会



会長メッセージ

～ 縁（えにし）を継なく ～

第3128回 例会 (6月16日)

●会長スピーチ

会長 滝川 博則



皆さん、こんにちは。私にとって通常会場で行う会長スピーチも、本日が最後となりました。残す例会もあと2回となり、一年の終わりが見えてまいりました。

この一年を振り返る中で、最近特に安堵していることがあります。

私の在任中にアメリカとイランの軍事衝突という大変心配な出来事が起こりました。しかし、現在は集結に向けた動きが見られ、平和への道筋が見えつつあることを喜ばしく思っています。

ロータリーは究極的には平和を求める団体です。世界の平和を願う気持ちを改めて強くしたところです。

平和の象徴ともいえるスポーツの世界では、サッカーワールドカップが開幕しました。日本代表はオランダとの初戦で粘り強く引き分け、勝ち点1を獲得しました。「見たことのない景色」である優勝へ向け、幸先の良いスタートになったのではないのでしょうか。

また、6月14日には勝山クロカンマラソンが開催されました。長年、勝山ロータリークラブがご縁をつないできた君原健二さんから、その襷が川内優輝選手へと受け継がれていく姿を見ることができ、大変うれしく思いました。

人と人のご縁をつなぎ、次の世代へ引き継いでいく。これもまたロータリーの大切な役割だと感じています。

最後になりますが、この一年間、毎週の会長スピーチに耳を傾けていただいた会員の皆様に心より感謝申し上げます。

残された任期もあとわずかですが、最後までよろしくお願いいたします。

●幹事報告

幹事 辻 利津子

一年間ありがとうございました。

○例会終了後次年度の理事役員会を開催します。

◆到着物

○恐竜書法展協賛のお礼

吉川壽一氏

●委員会報告

●親睦ロータリー家族委員会

幅田 浩二

来週の最終例会は18:30から谷よしで開催しますのでよろしくお願いします。

●出席報告

山内 智子

6月16日

欠席3名

85%

6月9日

欠席2名

90%



クラブ協議会 活動報告②

●クラブ管理運営委員会

久保光子

今年度は、各委員長が孤立することなく、広い視野で活動を計画できるよう、委員会全体での意見交換会を3回開催いたしました。後半は開催が滞ってしまった点が反省点として残っております。

次年度への申し送り事項としましては、各委員会のプログラムや運営を委員長個人に任せるのではなく、引き続きクラブ管理運営委員会、そして会員全体の協力のもとで進めていく体制を強化していただきたいと

考えております。これにより、より活発で充実したクラブ活動が期待できるものと信じております。

●親睦ロータリー家族委員会

幅田浩二

主な活動としまして、昨年2025年9月9日に開催いたしましたガバナー公式訪問合同例会での懇親会をはじめ、12月21日のクリスマス家族例会、そして本年1月6日の新年会など、会員の皆様の親睦を深めるための会を多数企画いたしました。

本 日 プログラム	最終例会	7月14日 プログラム	クラブ協議会	7月21日 プログラム	クラブ協議会	7月28日 プログラム	クラブ フォーラム
-----------------	------	----------------	--------	----------------	--------	----------------	--------------

クラブ協議会 活動報告①

また、2026年6月6日には旧美山町の「ルポの森」にて新緑例会を開催し、来たる6月23日には最終例会を予定しております。

新たな試みとして、4月21日にはゆっくりと食事と会話を楽しんでいただく「ランチ例会」も実施し、ご好評をいただきました。

次年度への申し送りとして、勝山ロータリークラブがホストを務める合同例会では、今後も当クラブらしいアトラクションを企画していくことが望ましいと考えております。また、交通費が高騰する中、送迎サービスのある施設を検討するなど、予算を有効に活用する工夫も重要です。ランチ例会は例会の活性化に繋がるため、継続的な企画をご検討いただければ幸いです。

●出席奨励委員会

山内智子

今年度前半は80%台の高い出席率を維持していましたが、後半にかけて70%台に低下する傾向が見られました。これは、欠席された方への積極的な声かけが不足していたことが一因と考えられます。

しかしながら、年間を通じて90%台を4回記録し、特に2026年4月5日の例会では出席率100%を達成できたことは、大変喜ばしい成果です。次年度におきましても、会員同士で声を掛け合い、より一層の出席率向上を目指していただけますようお願いいたします。

●奉仕プロジェクト委員会

小林達治

奉仕プロジェクト委員会からは、1年間の活動の総括をご報告いたします。今年度は、特に国際奉仕において、アメリカのボーズマン・サンライズRCとの交流が大きく進展し、青少年奉仕をも巻き込む形でプロジェクトが拡大した、実りある一年でした。

一方で、職業奉仕、社会奉仕、青少年奉仕といった各委員会が縦割りになりがちで、連携を十分にサポートできなかった点は反省しております。

青少年奉仕活動としては、例年通り、小中学校の理科作品展への記念品贈呈を行いました。会長自らが授与することで、子どもたちにとって大きな誇りとなるこの活動は、今後もぜひ継続していきたいと考えております。

●職業奉仕委員会

山本泰司

当初目標としていた高校生への職業の魅力発信については、残念ながら今年度は具体的な活動実績を上げることができませんでした。

個人の事情によりロータリー活動への意識が薄れ、例会出席も減少してしまったことが大きな反省点です。

次年度は、年間を通した活動計画を早期に策定・共有し、ロータリーを楽しむ環境づくりを通じて、責任を果たせる体制を整えることが重要だと思っています。

●社会奉仕委員会

幅田浩司

ヨシ刈り、クリーンアップ九頭竜川、長山公園の清掃活動を実施いたしました。特にヨシ刈りやクリーンアップは地域からの要望も強く、継続が望まれます。長山公園の清掃では、驚田会員のアドバイスに基づき、新たに肥料散布をしました。来年度以降も継続することで、より美しい景観が期待できると思います。

●国際奉仕委員会

驚田政憲

今年度も、米国ボーズマン・サンライズRCとの交流を深めることができました。2025年9月28日から10月2日までの日程で、会員11名が米国モンタナ州を訪問し、会員宅でのホームステイを体験するという、非常に貴重な機会を得ました。

ロッキー博物館やイエローストーン国立公園の訪問に加え、市長を交えた歓迎パーティーなど、心のもったおもてなしを受け、両クラブの絆を一層強いものにすることができました。彼らのおもてなしには、私たちが前年に行ったおもてなしを参考にしたと思われる点が多々あり、相互の学び合いが生まれていることを実感いたしました。

また、新たな試みとして、週報で「ボーズマン・サンライズRC通信」を掲載し、交流の様子を会員の皆様にお伝えすることができました。

●ロータリー財団

梅田秀司

本年度も、会員の皆様からロータリー財団に対し、多大なるご理解とご寄付を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。

地区の担当者とお話する機会もございましたが、財団の仕組みに大きな変更はなく、当クラブにおきましても、コロナ禍の一時を除き、安定したご協力をいただけている状況でございます。皆様には、今後とも財団活動へのご理解を深めていただきますよう、お願い申し上げます。

●米山記念奨学会

本年度も多額のご寄付、誠にありがとうございました。私自身、まだ理解が浅い部分もございますが、米山記念奨学事業の重要性を学びつつ、次年度も皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

●クラブラーニングファシリテーター 多田慶一郎

本年5月に、数年ぶりとなる「炉辺会議」を開催いたしました。「会員増強」と「クラブの奉仕活動」をテーマに、少人数で活発な意見交換を行うことができ、大変有意義な時間となりました。

また、新入会員の皆様に対し、年会費や例会の出欠連絡の方法など、クラブ運営に関わる基本的な事項について説明会を実施いたしました。

炉辺会議の開催は、会員相互の親睦を深める上でも非常に効果的でした。各班からいただいた貴重なご意見は、次年度の活動方針を決定する上で重要な資料となりますので、ぜひこの形式を継続していただきたいと思います。

一方で、クラブ定款や細則といった、より詳細なルールについての周知が不十分であった点は反省点です。

特に、入会年数の浅い会員を対象とした勉強会の開催を、次年度以降ご検討いただければと存じます。

会員の皆様も、お手元のクラブ活動報告書に記載の定款等に今一度目を通していただき、クラブへの理解を深めていただければ幸いです。